

第6回豊島区コミュニティ・スクール事業検討委員会 会議録

附属機関又は 会議体の名称		豊島区コミュニティ・スクール事業検討委員会
事務局（担当課）		教育部庶務課
開催日時		令和3年5月21日（金） 午後2時～ 午後3時
開催場所		オンライン会議
議 題		(1) 第5回検討委員会議事録について (2) 豊島区コミュニティ・スクール推進ガイドライン（案）について (3) 意見交換
公開の 可否	会 議	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 豊島区審議会等の会議の公開に関する要綱第4条第1項第3号 各委員の所感・感想・意見等を忌憚なく発言して頂くため
	会 議 録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委 員	柴田 彩千子（委員長）、野村 友彦、小林 豊茂、佐藤 洋士、 松浦 和代、青木 正典、山本 道子、御代 恒、岡 将太、 安藤 和子、高橋 京子
	そ の 他	教育施策推進担当課長、指導課長
	事 務 局	教育部庶務課教育施策推進グループ

審 議 経 過

No. 1

教育施策推進 担当課長	議第（１）～（２）について説明
委員長	意見や質問があれば挙手をお願いします。
A 委員	12 ページの学校運営協議会の役割に、法の何条かが追記されている。 ①～③については根拠法令だと認識できるが、④の学校教育法の内容は学校運営協議会の根拠法令とは異なる。学校として学校評価をやらねばならぬという意味の法令なので学校運営協議会というタイトルのなかに混ぜ込むと、読む人に誤解がないといいと思う。
教育施策推進 担当課長	ご指摘のとおり。記載は工夫する。
委員長	他に意見や質問はあるか。
B 委員	以前 E 委員からお話があったジャンプが抜けていると思う。
教育施策推進 担当課長	スキップを記載しているのでジャンプも記載する。
委員長	他にあるか。
A 委員	13 ページ、15 ページの地域学校協働活動部会は、いったいどういう人で構成され、どれくらいの頻度で行っていくようなイメージを持っているのか教えてほしい。
教育施策推進 担当課長	学校運営協議会の活動スケジュールは示しているが、地域学校協働活動部会の開催の形や頻度等はこちらで決めずに学校の状況に応じてというところがある。 部会のメンバーは 2 つ目に記載している方々を想定している。人数等も指定しない方が良いと思っている。理想的には学校の中にみんなが集まれる場があって、そこに先生方が一緒に入り相談できるような活動ができると地域と学校の協働による活動が盛んになると思っている。 といってもそういった場を設けるのは難しいという事もあるので、月に 1 回とかの活動。

教育施策推進 担当課長	後は教員が地域と授業を一緒にやるときに相談するために開催するのがよい と思っている。
A 委員	<p>学校の立場として考えると、部会がコーディネーターの役割を担うとなっている。なにかやりたいと思ったときに部会を開催しながら地域人材を探す、探してもらおうという流れをイメージしていた。</p> <p>そうすると進め方が遅くなる可能性があると思った。コーディネーターという役割ではなく人がいることで機能する場面がスピードという面ではある。コーディネーターという人を充てることと、部会で担っていくという、その良い他地区の事例があれば紹介してほしい。</p>
教育施策推進 担当課長	<p>国の示す形のコーディネーターを置いてやっている所がほとんど。コーディネーター役が 1~2 人しかいなくて、学校から相談しても適切な役割を担えていないという所も多い。</p> <p>上手くいっている所は、コーディネーターの方が地域に顔が広く、やりたいことがあった場合に適役を紹介できる。それが国の求めているコーディネーター役だと思う。</p> <p>そういう方がどこの地域にもいるのかというのが課題だと思っており、今回このように組織で対応するというのを考えた。</p> <p>部会を開かなければならないというやり方では、A 委員がおっしゃる様に迅速な対応ができないと思う。窓口を作ることで機動的に対応できるのではないかと思うので、柔軟に各校の特色・実情に合わせて自由に部会を進める形にしていきたいと思っている。</p>
A 委員	<p>そうすると学校運営協議会の委員と部会のメンバーが被る可能性があるという理解でよいか。</p>
教育施策推進 担当課長	<p>もちろん被ることもある。例えば F 委員はどちらにも入っていただいて、地域と学校を繋げる活動には入っていただいた方がいいと思う。</p> <p>どちらかしかダメという規定にする予定はない。</p>
委員長	<p>他に意見や質問はあるか。</p>
C 委員	<p>事例集の中で児童・生徒と地域が協働で活動している事例がある。こういった活動を広く一般の方に知っていただく必要があると思う。例えば参加したいという人がいた場合、どこにアクセスしたらいいのか、どういうお手伝いができるのかという事を Facebook や学校の HP 等に常に発信していく必要</p>

	<p>がある。</p> <p>やはりそういったことを更新していった窓口があれば。</p> <p>気軽に参加してみたいという人が見られるように SNS を活用していったらどうか。</p>
教育施策推進 担当課長	<p>13 ページの（４）学校運営協議会事務局の 2 つ目にニュースの発行などと記載しているが、ここに関してはニュースの発行にこだわっている訳でなく学校運営協議会や事務局で話し合っていたいただき周知・広報活動を洗練していただきたい。</p> <p>教育委員会でも ISS や CS の活動に関して写真等で周知していきたいと思っている。また、YouTube 等のチャンネルを作って色々発信していった方が良いと考えている。色々なチャンネルを作ってなるべく多くの方に学校の活動を周知して、参加したいという潜在的な方々を掬いあげて一緒に活動できるような土壌・環境にしていきたい。</p>
委員長	他に意見や質問はあるか。
B 委員	委員と事務局は同じ人がやるのか。
教育施策推進 担当課長	<p>そこも事例として自治体によっては学校運営協議会の委員の方が担っていることもあれば、全く別の方が担っていることもある。そこに関しては特に指定をしてはいない。実情に応じてやっていただくことになる。</p> <p>ただ議事録の作成はその場にいた人が作ったほうが良いという事もあるので、学校運営協議会の委員の方が作るというのもありだと思っている。</p>
B 委員	<p>組織のことが書いてあって、これが一つなのか別々の組織なのか分かりにくい。</p> <p>この 3 つは学校運営協議会のメンバーという事でよろしいか。</p>
教育施策推進 担当課長	<p>学校運営協議会の委員は委員。事務局と部会は別の組織だと思っている。ただそこに学校運営協議会の委員が重複して入っていても問題はない。</p> <p>機能としては、学校運営協議会は方針や評価を決めるところ。事務局は運営に携わるところ。部会は全く別の組織で地域学校協働活動を実際に行う実働部隊。</p> <p>D 委員から実働部隊が必要という意見があり、それを受けて実働部隊という意味合いで地域学校協働部会を作った。</p> <p>組織のイメージは 15 ページのイメージ図を考えている。文言が分かりづら</p>

	<p>いということもあると思うので、委員の立場とそれぞれがどういう組織体かという所をもう少し分かりやすい表現に工夫をしたい。</p>
委員長	<p>他に意見や質問はあるか。</p>
D 委員	<p>学校運営協議会の委員は方針を決める、地域学校協働活動部会は実働部隊との話だったが、イメージとしてはイベントをやるときに保護者や育成委員等と一緒に活動していくと考えている。そういう方々は委員になっても昼間仕事をしているため部会があったほうがハードルが低いと思い提案した。</p> <p>地域学校協働部会のメンバーは名前を全員提出して把握するのか。それともイベントごとにお手伝いをしてもらって、このイベントだけ手伝うというようにメンバーをふわっとさせるのか確認したい。</p>
教育施策推進 担当課長	<p>コアメンバーはある程度決まってくると思っている。実際に学校の授業を手伝ってくれる方や地域のイベントに参加してくる方というのは、地域人材名簿と記載しているが声を掛けやすい方の名簿を作ってやるのがいいと思う。しっかりと部会に誰が入っているかというのを管理しなければいけないわけではない。コアメンバーと手伝うだけのメンバーと別れてくるとイメージしている。</p>
D 委員	<p>そういった方々が学校の施設に入るので、不審者のチェックをすることが学校側の負担になると思う。そこら辺が問題点・課題になる。</p> <p>学校に丸投げするのはハードルが高いので、ある程度これから先の課題として考えた方がよい。</p>
教育施策推進 担当課長	<p>おっしゃるとおりだと思う。</p> <p>先程場を提供してというのがベストだとお話したが、そうなった場合登録をして責任や個人情報の問題が出てくると思うので、実際に走ってみて緩やかに学校と地域を繋げていくことができると思っている。そういったことがあった場合考えていく必要がある。</p>
委員長	<p>他に意見や質問はあるか。</p>
E 委員	<p>コーディネーターが人材を探しきれないときに地域を跨ぐことは可能か。</p>

教育施策推進 担当課長	<p>そういったところも含めて教育委員会が人材名簿を作るときに支援すると記載している。</p> <p>各校はそれぞれの区域の中で名簿を作るのが基本になるが、地域になかなか人材がないことも想定される。その場合教育委員会が全区的に名簿を把握していれば、困った時に人材を紹介できると思っている。</p>
E 委員	その人材名簿を教育委員会でまとめていて、質問があった際に紹介される形になるのか。
教育施策推進 担当課長	<p>細かな連絡体制やスキームは整っていない。</p> <p>学校の名簿の中にないような方がいれば、教育委員会にご相談いただければ紹介するような仕組みにしたい。</p>
委員長	他に意見や質問はあるか。
F 委員	今回で検討委員会は最後だが、これからのスケジュールはどうなるのか。
教育施策推進 担当課長	<p>16 ページにスケジュールを記載している。</p> <p>CS の検討を 5 月末に終えて、6 月にガイドラインの策定と規則の制定をした。8 月以降に本格実施と考えている。</p> <p>実際にすべてやるのは難しいと思う。地域の方や CS 委員の皆様の説明をしながら進めていかないといけない。8 月 1 日から本格実施でガイドラインに記載しているものをすべてやらなくてはいけないという事ではない。</p> <p>ガイドラインはこういった考え方で進めてってほしいという事で作っているので、少しずつここに合わせて CS を進めていってほしい。</p>
F 委員	コロナ禍でなかなか集まることができないが、少しずつ煮詰めていくと良い。
教育施策推進 担当課長	<p>コロナ禍で地域との活動が全くできず、いつ収束するのか見えていないが、今年度はコロナ禍でできなかった活動を少しずつ復活していきたいと思っている。CS を 8 月に本格実施という形で、お休みしていたことを復活していただきたい。今後ご協力いただければと思う。</p>
委員長	<p>他に意見や質問はあるか</p> <p>本日が最後になるのでぜひ意見をいただければと思う。</p>

G 委員	<p>SDGs の取組をという事でスキップもイベントで地球についての話をしながら手作りのものやカレンダーなどを作っている。</p> <p>学校も様々なことに取り組んでおり、SDGs の取り組みもあるので協力しながら、地域の方やスキップも子供たちの教育に取り組んでいけたらと思う。</p> <p>取り組みがたくさんあり大変だと思うが、良いことなのでスキップも協力しながら頑張っていきたい。</p>
H 委員	<p>実施校として CS のガイドラインでイメージが湧いているところと、学校として詰めなくてはけないのは今までの話は良くも悪くもどこの地区でもいい話だと思う。豊島区がどこにも出てきていない。</p> <p>豊島区の CS であれば、学校支援の話が中心だが中学校はよい大人を育てるところなので地域貢献という事で豊島区の課題に学校が応える CS にしていかななくてはいけない。</p> <p>制度の問題ではなく、具体的な取り組みの中に中学校はどう地域貢献していくのかという事を豊島区として、豊島区らしくというのを学校が考えていく。中学校が CS をするならば、支援をいただくより地域貢献していく。その辺を中学校は強調していかなければならない。</p> <p>学校を支援する話を中心で、嬉しいがそれを受けて中学生が将来的に地域に返していくような力を付けるには双方向になっていない。そこは学校が意識しないといけない。</p> <p>双方向と語ることと地域貢献という事で学校側が子供たちに地域を意識させる。そういう発想を中学校は持たなくてはいけない。</p>
委員長	<p>学校と地域がより協働していくという事を意識しながらの CS づくりという力強いご提言。</p> <p>他に意見はあるか。</p> <p>では時間となったので、最後にまとめさせていただく。</p> <p>本委員会は本日が最終日となる。皆様から頂いた意見は委員長預かりとし、事務局と協議をしたうえガイドラインを仕上げる。</p>

会議の結果	事務局からの説明について各委員からご意見を頂いた。
提出された資料等	<p>(資料1) 第5回検討委員会 議事録</p> <p>(資料2) 豊島区コミュニティ・スクール推進ガイドライン (案)</p>
その他	